

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		入札契約事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010303000063
						単独/補助	単独	所属課	020201
政策体系	総合計画の施策名	0103 健全な財政運営の推進				主要事業		対象外	財政課
	政策名	01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり				市長マニフェスト		対象外	
	施策名	03 健全な財政運営の推進				未来PJ事業		対象外	グループ
	基本事業名	03 効果的な予算執行				合併建設計画事業		対象外	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	07	01	00	財産管理事業		
法令根拠	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律								
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<p>入札契約事務は、業務担当課が行う公共工事や業務委託の発注、物品の調達に際し入札案件を取りまとめ、一般競争入札や指名競争入札を執行して受注者を決定し、契約を締結するまでの一連の事務。競争入札のほか任意契約による契約も行う。</p> <p>【事業費の内訳】 入札管理システム賃借・入札管理システムサーバー使用料 325千円</p>					<p>入札や契約に関する法令等に基づく業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共工事の年間発注見通しの公表 (年2回)。 入札参加業者選考委員会の開催。 競争入札の執行及び任意契約による契約。 入札結果及び契約内容の公表。 職員や業者に対して入札契約事務に係る指導。 <p>入札契約制度の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> H19 予定価格の事前公表、H23 入札管理システムの構築、総合評価方式の導入、H24 一般競争入札の対象拡大 				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の年間発注見通しの公表 (年2回)。 入札参加業者選考委員会の開催。 競争入札の執行及び任意契約による契約。入札結果及び契約内容の公表。職員や業者に対して入札契約事務に係る指導。		工事契約件数			件	88.00	335.00	80.00	80.00	80.00
		業務委託契約件数			件	112.00	211.00	120.00	120.00	120.00
		物品購入契約件数			件	16.00	68.00	20.00	20.00	20.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
1) 入札参加資格を取得している業者 2) 市役所内部の業務担当課		入札参加資格者数			数	2,034.00	2,062.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00
		業務担当課数			数	32.00	31.00	32.00	32.00	32.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
入札により公正性、競争性、透明性を高め、公共事業を適正に契約する。		不調件数			数	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00
		実際結んだ契約件数/当初契約件数			%	99.00	100.00	100.00	100.00	100.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移					26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,490	325	325	325	325	325
	事業費計 (A)	千円	1,490	325	325	325	325	325		
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	4.00人	3.00人	4.00人	4.00人	4.00人		
	述べ業務時間	時間	2,800.00	801.00	900.00	900.00	900.00	900.00		
	人件費計 (B)	千円	8,123	2,324	2,611	2,611	2,611	2,611		
トータルコスト (A)+(B)				千円	9,613	2,649	2,936	2,936	2,936	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
	14 使用料及び賃借料	325			14 使用料及び賃借料	325		
		合計	325			合計	325	

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	入札契約事務	事務事業No.	10303000063	所属課	財政課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 法律に基づく事務事業 自治体が業務を開始した時期と同時期に開始された。公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、公共工事の発注見通しの公表や入札・契約に係る情報の公表が義務付けられるなど入札契約制度の改革が求められている。桜川市では、平成19年4月から130万円以上の入札で予定価格を事前公表し、平成23年度に総合評価方式入札を導入、平成24年度から一般競争入札の対象を拡大(1,000万円以上の工事)している。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 入札参加者からの電子入札の導入要望、茨城県の入札参加資格共同受付への参加

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	契約行為を行う上で、透明性を確保し、かつ公正な競争の促進を図ることは、効果的な自治体運営に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	法律に基づき行っている公共事業の入札・契約であるため。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	入札制度の見直しにより、公正性、競争性、透明性を向上させられる可能性がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法律に基づく事務事業であるため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないためできない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	システムとサーバーの使用料であり削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	発注者である市が行う事業であり、一般財源より支出すべき事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	入札契約制度は常に改善が求められており、桜川市の現状に合う入札制度に見直ししていく必要がある。																								
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果		⑥																								
コスト削減優先度評価結果		⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>